

エコドライブのすすめ

エコドライブとは

燃料消費量やCO₂排出量を減らし、地球温暖化防止につなげる“運転技術”や“心がけ”です。また、エコドライブは、交通事故の削減につながります。燃料消費量が少ない運転は、お財布にやさしいだけでなく、同乗者が安心できる安全な運転でもあります。心にゆとりをもって走ること、時間にゆとりをもって走ること、これもまた大切なエコドライブの心がけです。エコドライブは、誰にでも今すぐ始めることができるアクションです。小さな意識を習慣することで、あなたの運転がよくなって、きっと社会もよくなります。できることから始めてみましょう。

【引用：環境省「COOL CHICE」】

① 発進時：ふんわりアクセル「eスタート」

発進時の操作は、燃費消費削減の大きなポイントです。ふんわりとやさしく発進しましょう。

(最初の5秒で時速20km程度が目安です。)

普通の発進より**10%程度燃費が改善**します。

焦らず、ゆっくり発進することで、安全運転にもつながります。

② 走行時：車間距離にゆとりをもって、加減速の少ない運転

燃費のいい運転のコツは、一定の速度で走ることです。車間距離が短くなると**市街地では2%程度、郊外では6%程度も燃費が悪化**します。車間距離にゆとりをもって、加減速の少ない運転を心がけましょう。

③ 減速時：早めのアクセルオフ

信号が変わるなど、停止することが分かったら、早めにアクセルから足を離しましょう。エンジンプレーキにより燃費が**2%程度改善**します。また、減速するときや坂道を下るときにもエンジンプレーキを活用しましょう。

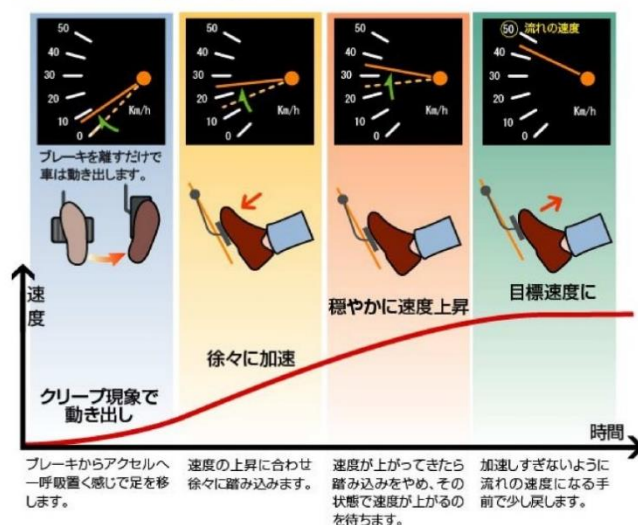
④ 停止時：アイドリングストップ

待ち合わせや荷物の積み下ろしなど一定時間の駐停車の際、アイドリングはストップしましょう。**10分間のアイドリング(エアコンOFFの場合)で、130cc程度の燃料を消費**します。また、現在の乗用車では、-20℃程度の極寒冷地など特別な状況を除いて暖機運転は不要です。エンジンをかけたらすぐに出発しましょう。

⑤ 運転時以外

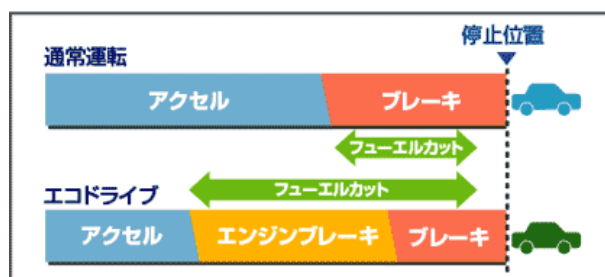
- タイヤの適正空気圧の50kPa(0.5kg/cm²)不足した場合、**市街地で2%程度、郊外で4%程度燃費が悪化**します。タイヤの空気圧チェックやエンジンオイルなど定期的なメンテナンスによって燃費が改善します。
- 不要な荷物を降ろしましょう。**100kg重量が増加**すると燃費が**3%程度悪化**します。

エコドライブ(発進時イメージ)



【図：(社)日本自動車連盟】

エコドライブ(減速時イメージ)



【引用：環境省「エコドライブ10のすすめ」】